

## 論 文

# Limited Express その表現の是非

——史的考察並びに米国におけるフィールド・ワークの  
データに基づいた当該表現の再考——

木 塚 雅 貴

## I. 論点の背景

特別急行(特急)という日本語の表現を英語で表した場合、和英辞典やJRなどでは、一般に limited express を用いている。しかし筆者は、かねてより、当該表現が和製英語に類した表現ではないかとの疑念を抱いていた。そこで、『英語教育』(1992年1月号大修館書店)に、日本の事情を全く理解していない英国人の知人が来日した際に、当該表現を理解できなかったことを含めた、当該表現の見直しを提案する研究ノートを提出した。

拙稿に呼応して、『英語教育』(1992年4月号)において、山田雅重氏より、氏の考え方として、limited express は「和製米英語」ではないかとする貴重な御意見を頂いた。山田氏によれば、limited express という表現に対する疑問は、他にも見られるとのことである。例えば『時事英語研究』(1991年5月号研究社)で、小笠原林樹氏は、「(前略) . . . 私なら単に special express と表すところであるが . . . (中略) その速い列車のどういう点が limit されているのか、つまり走行速度のことなのか、停車駅の数のことなのか、乗客数のことなのか、そういうことが少しもわからない(以下略)」と述べており、また『時事英語研究』(1991年6月号研究社)では、村田聖明氏が、「limited は『停車する駅の数が限られている(limited)列

車』の意である」として、氏の推理を付け加え、「日本の鉄道省が英国の国鉄から鉄道運営の技術を学んだ歴史の中のどこかで導入された用語であったかもしれ」ない、という見解を述べているとのことであった。

『英語教育』の拙稿の中で、limited express が英国系の辞書 (Oxford English Dictionary [いわゆるO.E.D.] や Longman 系の辞書) には全く見当たらず、英国人も全く理解できなかった表現であることから、イギリス英語の表現ではないであろうという点を指摘し、また同時に、米国系の辞書である Webster にも、当該表現が載せられていない旨を合わせて指摘したところ、山田氏より、Webster<sup>3</sup> には、limited express という表現はないものの、limited の項に、of train (1): having a limited number of cars and making a limited number of stops in order to provide fast through service (2) offer superior accommodations or service and faster transportation という記述がある旨の御指摘を頂き、limited express がアメリカ英語の表現を基にしたのではないかという事実がより明確になった。更に、拙稿の中で、在日の米国人 5 人に当該表現が米国のどの地域で用いられているのかを知っているか否か尋ねた結果を掲載したが、5 名のうち 3 名は、limited express の米国における存在そのものさえ知らず、残りの 2 名は、米国東海岸で用いられ、その際は express よりも遅い列車である、という回答を示した。

## II. 論 点

上記の経緯を基に、limited express という表現が日本で用いられるようになった歴史的な時期を特定することで、どのように当該表現が日本で用いられるようになったのかを明らかにすることを 1 つ目のねらいとし、また、当該表現が米国特有の表現であることが明らかになったので、実際に米国において当該表現がどの程度認められるかを調査するフィールド・ワークを、米国東海岸の都市ニューヨークで 1992 年 8 月に行い、実際の言語使用の面から、limited express という表現を考察することを 2 つ目のねらいとした。

そして、上記2つの結果から、改めて limited express という表現が、日本で用いられている「特急」に相当する言葉として相応しいかどうかを再確認することを、本論文の最終的なテーマとするものである。

### Ⅲ. 歴史的経緯に関する調査について

調査方法の確定に先だって、いつから日本で特急列車が走り始めたのかを調査した。その結果、特急に先立つ列車として、通常の急行列車よりも速い「最大急行列車」と呼ばれる列車が、明治36年、当時の山陽鉄道（現在の山陽本線）で、神戸～下関間を走っていたようであり、これが日本初の特急列車と呼べる列車に近いものであるらしい（『とっきゅうれっしやずかん』講談社）。その後、明治39年には、最大急行列車は、新橋～神戸間を走るようになる。

そして、実際に特急という名称が用いられて、特急列車が走り始めたのは、その6年後の明治45年であった。当時の特急は、1等車・2等車の2つの等級しかなく、現在の普通車に該当する3等車はなかったようである。従って、当時の特急列車は、速さが増したと同時に、乗車人員の制限も行っていたことが、この点からわかる。

上記の事実に基づいて、調査の方法として、明治45年頃に日本で出版された英和・和英辞典を中心に、入手可能な限り当該表現の掲載の有無を調べ、当該表現の辞書における初出時点の特定を行うという方法を採用した。（本項末尾記載の年表を参照のこと。）

まず、確認事項として、express（急行列車）が英和辞典に載せられているか否かを調査した。『ウェブスター氏新刊大辞書和訳字彙』（明治25年・第17版・三省堂）には、既に当該表現は記載されていた。但し、若干現在のニュアンスとは異なった内容であった。即ち「express tran. 臨時氣車, 急行列車」とあり、本格的に日本では急行列車が走っていなかったことをうかがわせる、「臨時」の意が、訳語として挙げられている点である。

同様の内容は、『新訳英和辞典』（明治37年・第9版・三省堂・神田乃武編）でも見られ、「express n 1 至急便，特別遞送，別仕立，急行列車」と記載されていることからわかるであろう。また，急行列車が，ある種特殊な列車であり，通常の車両とは異なる車両であったであろうことも，「別仕立」という言葉から理解できる。

一方，この頃の和英辞典ではどうかというと，『和英大辞林』（明治42年）では，急行列車として，an express train, an express が載せられていた。

『新訳英和辞典』（明治43年・第3版・三省堂・井上十吉編）では，興味深い記載が見出される。「急行 express 特別 express（別仕立）最大急行車 a special express」と記載されており，従来の記述に加えて，当時既に走っていた最大急行列車の訳語として，a special express が載せられていた。（ついでながら，当辞書は明治44・大正1・2・11年に改定されているが，いずれにも最大急行列車は記載されているものの，特急の記載は見られなかった。）急行列車の中でも特別であるとして，このような表現を用いたのであろう。ただ，special という語が，その語「特別な」の意で訳語として定着し，「特別急行」の訳語として用いられなかったことだけは，後の展開が示している。即ちこの special は，速さに力点が置かれた語として見なされていたのではなく，一般の急行列車とは異なる側面を有していた（例えば，車両の豪華さや乗車定員が限定されていたなど）点に力点が置かれた語であったと捉えることができる。

本題の limited express であるが，『大增補模範英和辞典』（明治44年・初版・三省堂・神田乃武編）の limited の項には，limited train（制限列車）の記述が見出される。何を制限していたのかは不明であるが，山田氏が指摘しておられた，Webster<sup>3</sup>に記載されている limited train と通じる内容である。ただ，記載されている事項は，「limited train 制限列車」とあるだけで，何が制限されていたかは全く不明である。この当時の多くの英和辞典が，ウェブスター系の辞書を和訳したものであったことを考えると，ここに見られる記載も，ウェブスター系辞書のいずれかの直訳の可能性が高いと推

測される。(尚、ついでながら、大正6年・第17版、大正7年・第20版の記載も全く同じままであり、更に、『模範英和大辞典』と名称を改めて以降の、大正8年・第6版においても、いずれも全く同様の記載であり、改定の跡は見られなかった。) いずれにしても、特急が走る1年前に出版された辞書であることを考えると、ここでの記述がその後に影響を与えていると考えられそうである。

大正期に入り、『詳解英和辞典』(大正2年・第2版・日英社・入江祝衛編)では、limited train や limited express などは見当たらない。「express 急行車」「special 特別列車」という従来の記載と同じ内容が見出されるのみである。

『井上十吉英和大辞典』(大正4年・日英社・井上十吉編)では、limited (乗客人員を制限せる列車)の記載が登場し、limited が当時意味していた事項が初めて明らかにされている。従って、当時の limited が、乗客数の制限に重きを置いた表現であり、速さを基にした表現ではなかったことがわかる。

同じ年の『熟語本位英和中辞典』(大正4年・岩波書店・斉藤秀三郎著)では、「special train 臨時列車(別仕立)」の記載が見られ、『新訳和英辞典』の箇所で述べた special の意が、「臨時」の訳語として確定されることになる。

その後、『英和中辞典』(大正7年・至誠堂・井上十吉著)では、limited (特別の、特殊の)の記載が見られ、limited の訳語における変化が見出せる。同じ著者でありながら、limited の訳語に異なった定義づけを行い提示している点は、注目に値する。これ以前に採り上げた英和辞典では、limited の項において、ここで述べたような意味は記載されていない。従って、limited の意味が混乱する基を提供する結果となったのが、この辞書である可能性が高いと推測される。

同じ年発行の『武信和英大辞典』(大正7年・初版・研究社・武信由太郎著)には、急行の項に、特別急行列車 (a limited express train; a train de

luxé) が登場する。当時の特急が、車両の点からも特別であったことを表す意図に加えて、「最大急行列車」の英訳 special express と区別する必要性から、limited という語を express の前に付加し、また同時に、フランス語まじりの表現も採用している。これまでに調査することができた辞書の中では、初めて limited express そのものが出て来たことになる。従って、本辞書が有する意味は、大きいと言える。(尚、本辞書では、特別列車を、a special [train] と記載している。)

『携帯英和辞典』(通称、齊藤英和辞典)(大正11年・日英社・齊藤秀三郎著)では、『井上十吉英和大辞典』の記述に類似した表現で、limited (乗客人員の制限のある特別列車) を記載している。

一方、『齊藤和英大辞典』(昭和3年・日英社・齊藤秀三郎著)では、『携帯和英辞典』と同じ著者であるにもかかわらず、『武信和英大辞典』の記述と全く同じ表現を記載するという矛盾が起こっている。特急が、乗客数の制限を行い、かつスピードも速く、更に車両も通常の車両とは異なる、といった様々な側面を有している為、訳語の確定に苦労したのではないかということが読み取れる内容である。

これ以降は、limited express が定着して来る。『英和大辞典』(昭和3年・三省堂)でも、「limited express train 特別急行列車」と記しているし、『最新コンサイス英和辞典』(昭和13年・石川林四郎編・三省堂)でも、「limited express 特急列車」と記載している。

しかし、『雙解英和辞典』(昭和20年・初版・富山書房・齊藤静編)では、limited express (〔鉄道〕乗客の数又は等級を制限する (accomodating a limited number or class of passengers), 特別急行列車) という記述があり、特急が走り始めた当時の状況に沿う内容を残し、また、limited が初出した当時の意味(実際の英語の意に近い意味)を、正しく伝える記載である。

以上のように、当初は、limited train という表現として英語本来のニュアンスで、日本に入って来た表現が、日本が導入した特急(乗客数の制限とスピードの速さ)のニュアンスに合わせる為に、express train と合体した

表現となり、時代の流れと共に limited train 本来の意味は忘れられ、limited express [train] として定着してしまっただことがうかがえる調査結果である。

<英和辞典>	<和英辞典>	<備考>
<p>M. 25. 2. 15. ・第17版・三省堂 『ウエブスター氏新刊大辞書 and 和字彙』 express train. 臨時氣車。 〔初版：M. 21. 9. 〕</p> <p>M. 37. 2. 1. ・第9版・三省堂 神田乃武『新訳英和辞典』 express n. 1. 至急便，特別遞送，別仕立，急行列車。 〔初版：M. 35. 6. 〕</p> <p>M. 44. 初版・三省堂・神田乃武編 『大増補模範英和辞典』 limited pa 限アル，制限アル，有 限ノ。 limited train 制限列車。 express an express train 急行列 車。 T. 2. 第2版・日英社・入江祝衛編 『詳細英和辞典』 express 急行車。 special 特別列車。 〔初版：M. 45. 〕</p> <p>T. 4. ・日英社・井上十吉編 『井上十吉英和大辞典』 limited 乗客人員を制限する列車。 T. 4. 6. 岩波書店・斎藤秀三郎著 『熟語本位英和中辞典』 special train 臨時列車（別仕立） express 特別の。express train 急 行列車。</p>	<p>M. 42. 6 『和英大辞林』 急行列車 an express train, an expresso。 M. 43. 6. 18. ・第3版・三省堂 井上十吉編『新訳和英辞典』 急行 express 特別 express（別仕立） 最大急行列車 a special express。 〔初版：M. 42. 3. 13. 〕</p>	<p>M. 36. 日本初の最大 急行列車が， 神戸～下関間 を走る。</p> <p>M. 39. 最大急行列車 新橋～神戸間 を走る。</p> <p>M. 45. 日本初の特急 列車走る。</p>

<p>T. 7. 至誠堂・井上十吉著 『英和中辞典』 limited 特別の, 特殊の。</p>	<p>T. 7. 9. 25. 初版・研究社・武信 由太郎著 『武信和英大辞典』 急行 express。特別急行列車 a limited express train; a train de luce。特別列車 a special [train]。</p>	
<p>T. 11. 日英社・斉藤秀三郎著 『携帯英和辞典』 limited 乗客人員の制限のある特別 列車。express ②急行列車。</p>		
<p>S. 3. 3. 1. 三省堂・『英和大辞典』 limited express train 特別急行列車。 express 別仕立; 急行列車。</p>	<p>S. 3. 5. 8. 日英社・ 斉藤秀三郎著 『斉藤和英大辞典』 特別急行 a limited express—a train de luxe。</p>	
<p>S. 13. 1. 三省堂・石川林四郎編 『最新コンサイス英和辞典』 limited express 特別列車。 S. 20. 10. 10. 初版, 富山書房・斉藤 静編『雙解英和辞典』 limited express [鉄道] 乗客の数又 は等級を制限する (accomodating a limited number or class of passen- gers)。limited express 特急列車。</p>		<p>S. 19. 特別急行全廃 される。  S. 24. 特別急行復活 される。</p>

(注) : 表中では, M—明治・T—大正・S—昭和をそれぞれ表し, それぞれの直後にあ  
る数字は, 順に年・月・日を表す。また, 古い辞書などの場合, 初版・出版社等  
が不明の場合は, それらの情報は, 記載していない。英和辞典の場合は英単語,  
和英辞典の場合は日本語が, それぞれが辞典名の直後に来ているが, これらは,  
それぞれの辞書の記述内容をそのまま転記したものである。

#### IV. 米国におけるフィールド・ワーク

limited express が英国から入って来た表現ではないことは, 本論文「I.  
論点の背景」で指摘したが, limited train が Webster<sup>3</sup>にあるという山田氏  
の御指摘を踏まえて, 米国では当該表現が実際にどのように受けとめられて  
いるのかを, questionnaire (質問票) により調査した。

調査地域は, 米国 New York City マンハッタン島にある Pennsylvania



Station と Grand Central Station において行った。この2箇所を調査地点に選んだ理由は、limited express が米国東海岸で使われているかもしれないという在日米国人の言があったこと（「I. 論点の背景」で既に言及済み）と、両駅が Amtrak (the National Railroad Passenger Corporation [全米旅客輸送会社]) の拠点でもあり、日本の特急に相当すると考えられる列車が走っているからである。

questionnaire の被験者は、当初、鉄道の専門家である Amtrak の社員に限定する予定であったが、社員が questionnaire に答える為には、駅の head officer の許可が必要であり、その許可の求めに、両駅の head が応じてくれなかった為に、結局両駅の利用者を被験者した。（内密で、5名の Amtrak 社の運転士・車掌が、回答を行ってくれた。）被験者である駅利用者については、全く無作為に駅で選んだ男女に、

- 1) Are you an American?
- 2) Are you a native speaker of English?
- 3) Do you often travel by train?

の3つの問いに答えて貰い、総てに Yes. と答えた者のみに questionnaire に回答を記入して貰った。米国人で、かつ英語を母国語とする者の言語使用の状況を考察することがねらいであり、また、鉄道を全く利用したことがない者では、回答がしにくいと事前に判断された為、上記の3つの質問を、予め口頭で行い、questionnaire を実際に利用するのに相応しい被験者であるか否かを確認した。

その結果、男性10名（22歳～69歳）・女性5名（22歳～62歳）の有効回答を被験者から得た。（女性の回答が少ないが、これは、女性がアンケートに対する抵抗感が強く、調査に応じてくれなかったケースが大部分であったことによる。また、被験者の学歴は、高校卒業の者から博士号取得者にまで及んでいるが、学歴と当該表現の理解度とは、無関係であったことが、questionnaire の結果から、判明している。）従って、Amtrak 社の運転士と車掌の5名（いずれも男性）を加えて、計20名（男15名・女5名）を被験

者とした。questionnaire の質問事項は、以下の通りである。

1. Do you understand the word “limited express” in a train context?  
a) Yes.    b) No.
2. If your answer is a) in No.1, please explain what it is.
3. When the word refers to a kind of train, what do you think is actually limited? Please choose.  
i) number of passengers.  
ii) number of stations which that kind of train stops at.  
iii) any other things (write down what you think).  
iv) no idea.
4. In Japan “limited express” refers to a train faster than an express train. Do you think that word is proper to understand its meaning?  
a) Yes.    b) No.

Comments about that word:

1. に対する回答では、男性 9 名（内 2 名は Amtrak の車掌）、女性 4 名が b) を選んでいる。全体では、65%の者がわからなかったことになる。1. で a) と回答した者が示した 2. における回答では、only certain stops, make certain stops, more than one stop, partial express and partial local, an express train with very few stops, stops at certain stations, limited of stops などが見られた。express train との差異を明確に指摘していない回答ばかりであると同時に、partial express and partial local のように、日本における実際の内容と逆の回答（この解釈から考えると、limited express は、日本の「準急」に該当する表現になってしまう）まで見られた。（「I. 論点の背景」で指摘した、在日米国人が示したコメント全体から読み取れるほぼ一貫した内容は、express である以上、各駅停車よりは、停車駅が少ないという受け止め方はなされているということであろう。）

3. に対する回答では、男性 14 名、女性 4 名（全体で 90%）が ii) を選んで

いる。しかし、男性1名（Amtrak の車掌）は、iv）を選んでいいる。鉄道関係者にもわからない者がいるようである。一方女性1名はiii）を選び、コメントとして “could be any of above or more” と書いている。日本の特急のイメージに近い理解をしている者もいることがうかがえる。

4. に対する回答では、男性9名、女性4名（全体で65%）が、limited express の説明を受けたにもかかわらず、当該表現を理解できていないことが示されている。しかも、理解できた者（男性6名・女性1名）の中には、鉄道の専門家である Amtrak の社員が3名含まれていた。即ち、一般の人で当該表現を理解できた者は、男性3名・女性1名の4名（全体の20%）でしかなかったことになる。4. のコメントでは、当該表現が slightly oxymoronic な表現であるといった指摘や、“nothing to do with the speed”, “limited means less”, “limited suggests slower rather than faster”, “limited--speed slower”（ここでも、「I. 論点の背景」で指摘した、在日米国人が示した回答と類似の回答が出ていることに、注目して頂きたい。即ち、limited を文字通りの意味に解釈している被験者が目立つという点に留意することが大切であろう。limited express を1つの確立した複合語の表現としては、native speaker が見なししていないことを示す内容である）などの回答が示され、当該表現の理解度に対して、疑問を抱かざるを得ない回答が多かった。また、“It could be called ‘limited stop express’ or ‘ultra express’ to clarify even more.” のように、当該表現が意味する内容を明確に示す工夫を提案するコメントや、“More easily understood phrases for Americans might be ‘super express’ or ‘fast express’.” のように表現を見直した方が理解されやすいという提案もあった。しかし一方では、Amtrak 車掌1名は、“limited express to me makes less stops than Express Train.” と回答し、女性の1名も “conveys speed+convenience” とコメントしている。（この被験者は、3. でiii）を選んだ女性とは別の被験者である。）従って、ごく一部の者ではあるが、当該表現を理解できている者も見受けられる。

## V. 総括

歴史的背景を考察することを通して、問題となっている表現が、日本で作り出された可能性が高いことがうかがえた。とりわけ、調査することができた辞書の中で、limited express が、いわゆる日本の特急を表す表現として初めて登場したのが和英辞典であるという点が、更に日本で作り出された可能性を示す根拠と言える。limited train という表現を基に、日本で作り出された表現であろうという山田氏の推論は、正しいかもしれない。ただ、残念なことに、明治45年前後に発行または改定された英和・和英辞典が手に入りやすく、100% 十分な資料が得られなかった点は、気がかりである。しかし、limited train という表現が、米国英語の表現が意味している内容とほぼ同様の意味で、明治後期から大正期に見られることを考えると、かなり合理性の高い裏づけであるとも言えるのではないであろうか。

また、フィールドワークにおいても、日本で生み出された表現故にわかりにくい、という点が明らかになっている。とりわけ、鉄道の関係者である Amtrak の車掌らにとっても、理解し難い部分を含んだ表現である点は、注目に値する。一般の人々には、日本の特急をイメージすることは、limited express からでは相当困難であることは、推して知るべしであろう。また、既に、『英語教育』の拙稿で指摘したが、limited が曖昧である為に、limited express が express よりも遅い列車として捉えられていると同時に、limited express が確立したフレーズとして見なされていない、という点も指摘できる結果であった。更に、現在の native speaker が持つ limited に対するイメージは、乗客人員の限定というよりは、停車駅の数に基づいているようであり、その点で、明治・大正期の日本の辞書で記載されていた事項とは異なる結果である。

いずれにしろ、速さを基調として、ある程度の乗客人員の限定を行っている「特急」に該当する英語表現を工夫する必要があることは否めない事実であり、そのことが本論文において証明されたと言える。そこで、questionnaire

のコメントを考慮して、以下では相応しい表現を考えてみることにする。

## VI. 提言

『英語教育』拙稿において、改善策として、次の4つを挙げた。

1. super express (新幹線), semi-super express (特急), express (急行)
2. super express (新幹線), inter-city express (特急), express (急行)
3. Shin-kansen (or Bullet train) (新幹線), super express (特急), express (急行)
4. super express (新幹線), rapid express (特急), express (急行)

現在あるJRの表現の体系をなるべく崩さずに、より良い表現を工夫することが、混乱を少なくする意味から、求められる措置であろう。JRが新幹線を、車内アナウンスなどで super express と呼んでいることから、これはこのままに残し、急行も express が一般的かつ世界的に用いられている表現であるから、このまま残すことを前提に、話しを進めたい。

上記の視点で、1～4を見てみると、1, 2, 4が候補に挙がる。しかし、1は、新幹線との区別を曖昧にする可能性があるので、省く方が望ましいであろう。すると2か4になる。2の inter-city は、ヨーロッパを中心に用いられている語で、一般的には「都市間連絡急行」と日本語に訳されているようである。日本の特急が、大都市間を走っていることを考えれば可能な表現ではあるが、急行というイメージを与えかねないのと同時に、ヨーロッパ的な表現であり、米国系の人々には馴染まないことも懸念される。また、上記とは別に、special express という表現も考えられると思われるかもしれないが、これは、「臨時急行」と間違われる可能性があるので、除くこととした。(実際、歴史的にも、臨時列車のように読み取れる。Ⅲ.の年表を参照のこと。)

従って4を薦めるが、米国におけるフィールドワークの questionnaire のコメントにあった、特急を fast express とする案も、一計と言える。しか

しながら、rapid express も fast express も、意味的にやや redundant である。即ち、express は元来各駅停車の列車より「速い」列車であり、その点を踏まえれば、多少無理があると言わざるを得ない。ただ、これら2つのいずれかであれば、乗客人員の問題や、速さの問題は総て解決する。従って、欧米にない表現を工夫し、また、現行の表現の持つ曖昧性を解決し、ある程度充分に日本語の意味を伝えているこれらの表現が、妥協のしどころと言えるのではないであろうか。

〔付記〕

本論文をまとめるにあたり、古い辞書を閲覧することが必要不可欠であった。しかし、国立国会図書館や、東京大学附属図書館にも、ほとんど参照した辞書は入っていなかった。その為、『武信和英大辞典』の初版は、研究社出版にお願いし、貴重な現物をお見せ頂き、また、参照した三省堂の辞書のほとんどは、三省堂辞書部の鈴木剛氏の御助力により、三省堂資料室にて閲覧をさせて頂いた。また、山田雅重氏の御助言が大きな役割を担っていたことは、改めて申すまでもない。これらの方々に、厚く御礼を申し上げる次第である。